

# 諏訪テクノレイクサイド地域センター事業計画

## I 産学官交流事業

地域企業のネットワーク形成と産学官・企業間交流を促進するため、経営者、技術者、大学等関係者及びコーディネーターの人的交流の場を提供する。

### 1 広域産学官交流ネットワーク事業

当地域産業界が力を入れている技術分野にポイントを絞り、関連する技術シーズの紹介をする場を提供していく(マイクロマシニング、メディカル、環境・新エネルギー分野で2回実施)。技術シーズの紹介は近隣の大学等にとらわれず、上記重点分野に合致する研究開発をしている大学・研究機関等を広く国内に求め、より幅広くタイムリーな産学官交流の場が提供できるよう企画し、新事業・新産業創出に向けた取り組みを支援していく。

### 2 諏訪圏工業メッセ 2017 事業

魅力ある諏訪地域の創造を目指して行政、地域が一丸となって推進している諏訪圏工業メッセの主催構成団体の一員として、2017年の開催に向け企画段階から出展まで関係者と協力し推進する。

### 3 圏域内アドバイザー・コーディネーター連携事業

市町村・商工団体に所属するアドバイザーやコーディネーター及び関係機関の相互連携を強化し、圏域内の産学官連携事業を支援する。

## II 新産業創出支援事業

地域企業における新分野進出や新技術開発など地域産業の新たな展開を支援するため、企業の持つ課題の解決や産学官連携を支援するコーディネート活動を実施する。また、新産業創出のための研究会を創設して事業の企画・運営を行う。

### 1 DTF 研究開発事業

これまでの活動で構築した欧州での販売・サービス拠点を有効活用し新ビジネス創出に繋げていく。また、東南アジアでのブランド構築・ビジネス展開に向けた取り組みを引き続き推進する。

技術開発では前年度まで分科会で研究開発を行ってきたスマートファクトリーを実現する要素技術の実用化に向けた取り組みを推進する。更に今後取り組むべき研究開発テーマの発掘を行う。

## 2 医療・ヘルスケア—機器開発事業

医療・ヘルスケア—機器の開発・製造は、諏訪地域の活性化を図る成長産業分野の柱として位置付けられ、地域の産学官金の力を結集して取組む重要な研究開発事業の一つである。本年度は国をはじめ県の動向も見ながら NPO 諏訪圏ものづくり推進機構と協力し、医療現場ニーズに応える研究開発を促進するとともに、新たな研究開発テーマの発掘活動を展開する。また、開発成果については諏訪圏工業メッセ 2017 の企画ブースへの出展をはじめ、広く地域内外へ発信し、ビジネスチャンスに繋げていく。

(NPO 諏訪圏ものづくり推進機構への協力事業)

## 3 材料研究開発事業

今年度も昨年の継続で、アプリケーションが多く考えられる下記2つの材料をとりあげ事業化につなげる活動を行う。

(1) 微細粒鋼 (諏訪商工会議所主体で進めてきた S T X 2 1 の継続)

(2) コバルトクロム合金 (Ni レス、入手が難しい)

また、長野県精密加工研究会との連携を強化し、材料と加工の両面より研究の深耕を図る。

## 4 環境・エネルギー技術研究開発事業

研究会の定期的開催により、先端技術情報の収集、会員の活動状況の情報共有化等を図ると共に、個別研究開発テーマの探索に力を入れていく。本年度は排熱、地熱、小水力、バイオマス、ソーラー、水処理、IoT に関するプロジェクトを活性化し、具体的な共同研究開発を推進する。県の進める産業化に向けたクラスター作りにも参加し、推進に当たっては関連団体との交流・連携を取りながら、国などからの開発資金の導入にも積極的に挑戦していく。

(NPO 諏訪圏ものづくり推進機構との共催事業)

## 5 ロボット産業研究開発事業

ロボット産業は製造分野、ロボテク (R T) 製品分野、農林水産分野、サービス分野で今後急速に市場拡大が予測されている。中でも医療・介護、レスキュー等のサービス分野への普及・拡大は著しい。一方、諏訪地域でも既に一部で研究開発がすすめられているが、研究開発を促進するためには情報の共有化をはじめ産学官の連携による共同開発体制が必要である。そこで本年度は研究会で、地域の保有技術を活用できる研究開発テーマの探索を主体に活動を推進する。

(諏訪産業集積開発センター (SIARC) との共催事業)

## 6 コーディネート活動事業

地域企業の技術開発、研究開発に伴う課題解決に必要な、大学・公設試験研究機関等、外部経営資源の効果的活用を支援し、地域企業の新事業・新産業創出を促進する。

また、提案公募型共同研究開発事業などの支援制度の活用について積極的にサポートすると共に、研究開発成果の早期事業化に向けての販路開拓についても支援していく。

### Ⅲ 共同研究等推進事業

地域企業における新分野創出、新技術開発に向けた産学官連携による研究開発活動の円滑な推進を支援する。

#### 1 提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援事業

地域センターにおいて、コーディネート活動や研究会活動等により創出された研究開発プロジェクトに対し、研究に必要な資金の導入を支援すると共に、研究活動の推進、並びに商品化・市場化に向けた支援を行う。

#### 2 提案公募型等研究開発プロジェクト運営事業

採択された研究開発プロジェクトに対し、研究活動の推進、進捗管理を行う。

- (1) 電解レーザー微細複合加工技術の実用化による微細医療器具の開発  
(経産省サポイン事業・継続)

#### 3 提案公募型等研究開発プロジェクトフォローアップ事業

終了したサポイン事業の補完研究等について支援を行う。

- (1) SUS304超塑性効果を利用したナノ精度マイクロ部品の加工技術開発
- (2) 高輝度LED用フォトニッククリスタルを形成するインプリントモールド(金型)の研究開発

### Ⅳ 人材育成事業

地域企業における研究開発及びその成果の早期事業化に資する技術人材の育成を支援し、地域産業の高度化と新産業の創出を促進する。

#### 1 幾何公差実践研究会

図面に表現される情報は、それに係わるメンバー(お客様、設計、製造、品質管

理)間での意思伝達の重要な役割を果たしている。グローバルな事業展開を余儀なくされてくる「ものづくり企業」の技術者にとって、設計意図を国際的に通用する設計(図面)に表現すること、および海外企業の設計図面を適正に解釈して、高付加価値で国際競争力の高い生産活動を展開する事は必須の条件です。幾何公差の考え方と使い方を学び、実践能力を向上させることで、高品質で低コストなものづくりに寄与できる人材を育成する。

(長野県工業技術総合センターとの共催事業)

## 2 品質工学研究会

技術開発に際しては、技術を早期に商品化に繋げる事が重要であるが、現状は試行錯誤で進められ、長期の開発期間を要している。そこで、短期間で技術開発を行い商品設計につなげることができる品質工学の普及を推進する。

座学として①品質工学導入講習会(一般向け)、②品質工学パラメータ設計セミナー(技術者向け)③MTシステム活用セミナー(管理者、技術者向け)を実施。更に④品質工学実践事例発表会による情報交換の機会を設ける。

(長野県品質工学研究会、長野県工業技術総合センターと共同推進)

## 3 環境対応技術研究会

企業活動では、更なる環境負荷低減対応が求められ、コスト削減と両立する効率的活動が要求されている。そこで、基礎知識の習得として下記セミナーを実施する。①MFC A等の見える化手法を使った問題把握、②省エネを中心とする解決手法の提供、③環境対応商品創出のための評価方法取得。

更にセミナー参加企業等の個別企業での実践研究を実施し、環境対応技術者を育成すると共に実践による成果も目指す。

(長野県工業技術総合センターとの共催事業)

## 4 新商品開発・製品サービス研究会

新商品開発では、開発スピードとともに、市場に受け入れられる商品の開発、市場において問題発生のない商品の開発が要求されている。そこで、商品開発手法について基礎知識習得のためのセミナーを開催する。更に企業での実践研究を実施し、効率よく商品開発を推進できる技術者を育成すると共に、実践による成果も目指す。

## V 広報等事業

当地域センター事業や各種経営情報の提供を行う。

### 1 情報交流、提供事業

地域センターの事業（事業概要、行事案内、セミナー等）について、ホームページ、メルマガ等によりタイムリーな情報を提供する。